

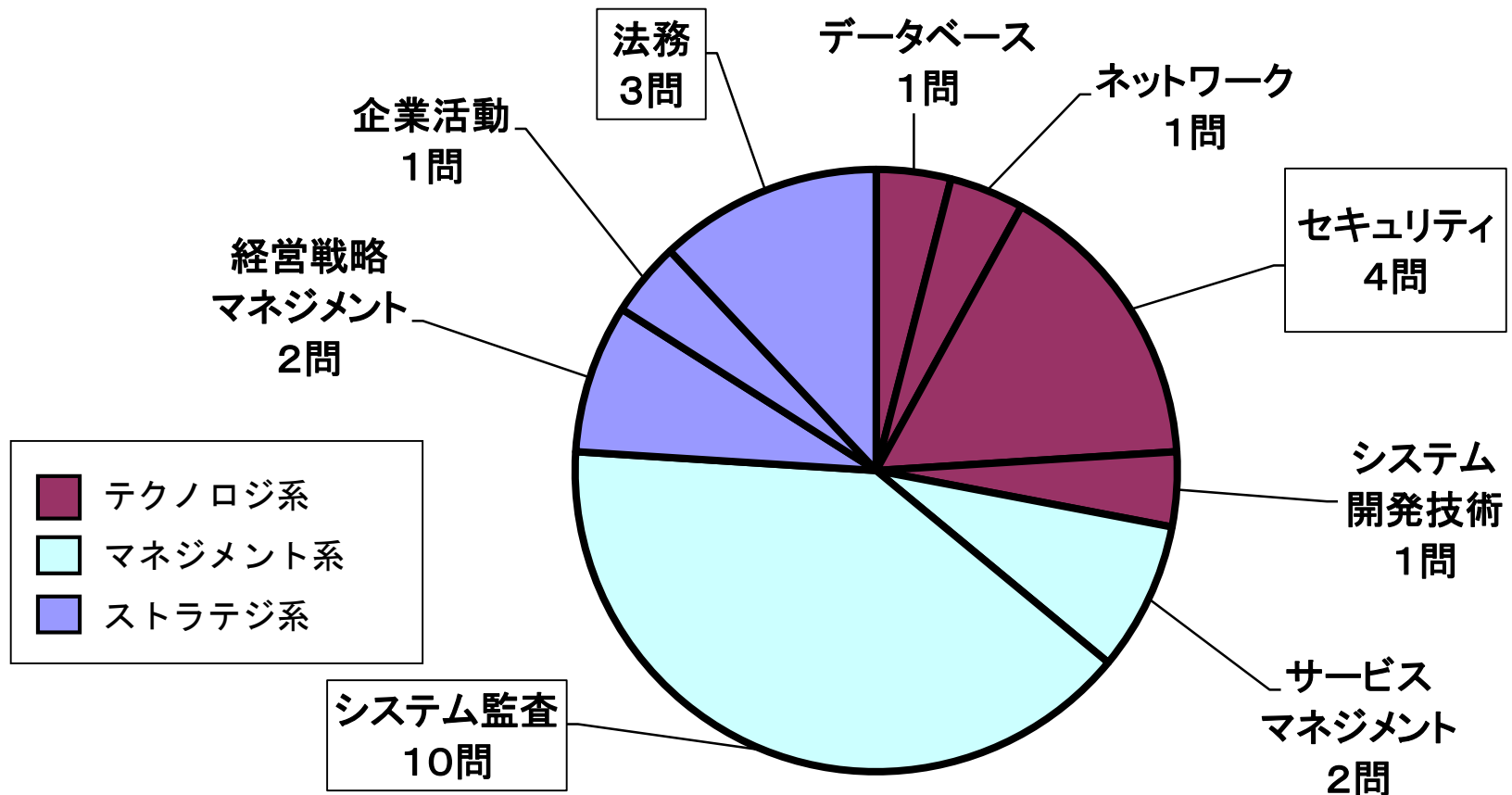
令和3年度秋期試験 システム監査技術者(AU) 出題傾向分析

TAC株式会社



AU 午前Ⅱ 分野別出題数

- ・出題割合は前回と同じ。重点分野からは17問



AU 午前Ⅱ 特徴と難易度

- ・ 新システム監査基準・管理基準 (H30年改訂) から5問
 - 「システム監査」の10問のうちの半数を占める
- ・ “拠り所のある問題” が多く出題
 - 基準・規格・法律・フレームワークなどから14問
- ・ 「セキュリティ」はレベル4だが,
 - 高度なセキュリティ技術というより,
セキュリティに関する基準やフレームワークが多い
- ・ 過去問題は2回前が特に多い
 - H31年AUから7問も出題

重要！

⇒ 標準的 (過去問題を解いていれば解きやすい)

AU 午前Ⅱ 新規問題・過去の類題

・ 新規問題の目新しいテーマ

システム監査基準：“監査の結論の形成”

“十分かつ適切な監査証拠”

内部統制評価基準：IT全般統制 “システムの運用・管理”

民法：契約不適合責任

GDPR(EUの個人データ保護規則)：データポータビリティ

NIST(米国)：サイバーセキュリティフレームワーク

・ 過去問題の類題

JIS Q 19011：第一者監査

保証業務実務指針3402（旧86号監査の後継）

JIS X 25010 (SQuaRE)：製品品質特性の“互換性”

⇒ 基準・規格・法律・フレームワークばかり！

AU 午後Ⅰ 特徴と難易度

- ・ 3問ともシステム開発の監査の問題
 - － 問1・問2 システム企画段階
問3 結合テスト段階
 - － 開発経験者にはイメージしやすい事例
- ・ 問題文4ページ，解答数5つ に揃えられている
 - － 解答数が少ないので，1問当たりの配点が高く，
ミスすると失点が大きい
- ・ 問題によって難易度差あり
 - － 問題選択が得点に影響するおそれあり

AU 午後Ⅰ 各問題の特徴と難易度(問1)

・ 問1 チャットボット開発の企画段階における監査

－ システム企画段階の監査

－ 最新の技術や開発方法の採用

- ・ AI, チャットボット, PoC(概念実証)

前回から続けて出題！

－ AIを使ったシステムの監査のポイント

- ・ AIに学習させたデータの適切さ
- ・ AIが示した結果の正しさや利用可否

AIが判断を誤る
リスクがある！

は、最終的には人が判断しなくてはならない

－ 問題文を引用して解答できる設問が多い

⇒ 易しい

AU 午後Ⅰ 各問題の特徴と難易度(問2)

- ・ 問2 システム再構築プロジェクトの企画段階の監査
 - － 企画段階の監査のポイント
 - ・ システム投資の意思決定権を持つ者の参画
 - ・ ビジネス目標に合致したシステムかどうかの検討状況
 - ・ 要件定義の不備による設計工程, テスト工程への影響
 - ・ 新たなシステム基盤で稼働できるか, 実現性の検討状況
 - － イメージしやすいが, 解答の特定が難しい設問あり
 - ・ リスクとリスク要因(設問3)
 - ・ 「システム基盤に依存する事項」の監査内容(設問4)

⇒ 標準的

AU 午後Ⅰ 各問題の特徴と難易度(問3)

- ・ 問3 結合テストの監査
 - － プロジェクトマネジメントの知識が求められる
 - ・ 結合テストの品質管理の知識（不良密度・テスト密度）
 - ・ 外部委託先との契約の知識（請負契約・準委任契約）
 - － 結合テストの監査ポイント
 - ・ 品質指標に基づくテスト結果の評価（テストの量や質）
 - ・ 課題の対応状況→テスト工程の完了評価の適切性
 - ・ 他システムとのインタフェースのテストの状況
 - ・ テストの実施体制
 - － テストに焦点が絞られているため、状況を細かく理解して具体的に解答する必要あり ⇒ 難しい

AU 午後Ⅱ 特徴と難易度

- ・ 4年連続で新技術などのトピックテーマが出題(問1)
 - H30: **アジャイル開発**, H31: **IoT**, R2: **AI**, R3: **RPAツール**
- ・ **監査業務**そのものに関する出題(問2)
 - 「監査手続」ではなく「**監査計画**」が問われ,
通常のAU午後Ⅱ問題とはタイプが異なる。
- ・ セキュリティの視点からの出題なし

⇒午後Ⅱ全体としては**標準的～難**

AU 午後Ⅱ 各問題の特徴と難易度(問1)

- 問1 RPAツールを利用した業務処理の自動化に関する
監査について

RPAは昨年のTAC公開模試に出題

設問ア: RPAを利用した業務処理の自動化について,
概要と期待される効果,

ロボットを開発, 運用, 保守するための体制

設問イ: ロボットの開発, 運用, 保守に関わるリスクを
低減するために必要なコントロール

設問ウ: コントロールが適切に機能しているかどうかを
確かめるための監査手続

- 問題文に例示が多く, RPAの開発・監査経験がなくても,
想像して論述することは可能

⇒ 標準的

AU 午後Ⅱ 各問題の特徴と難易度(問2)

・ 問2 他の監査や評価として実施された手続とその結果を利用したシステム監査の計画について

設問ア: 計画又は実施したシステム監査の目的・概要,
利用可能と想定又は利用した他の監査等の概要

設問イ: 他の監査等
(システム監査で利用可能と想定した理由を含める)

設問ウ: 他の監査等が利用できるかの評価ポイント,
想定どおりでなかった場合に見直すべきシステム
監査計画の内容

- － H30年問2 「リスク評価の結果を利用したシステム監査計画の策定」と類似
- － 通常とはタイプの異なる問題, 場面想定が難しい ⇒ 難

AU 今後の対策（午前Ⅱ）

<午前Ⅱ対策>

- 基準・規格・法律・フレームワークを押さえる

・「システム監査」

システム監査基準, システム管理基準（H30年改訂）

財務報告に係る内部統制監査の基準（R元年改訂）

・「法務」

近年改正された(改正される)法律をチェック！

個人情報保護法, 電子帳簿保存法, 著作権法 など

※過去問題を解くと, どんな基準等が“拠り所”になっているかの傾向をつかめる → その**最新版**を押さえておく

- **2回前**の再出題が多いので, 必ず解いておこう！

AU 今後の対策（午後Ⅰ）

<午後Ⅰ 対策>

- － 主要3テーマについて過去問題演習を

- ① システム開発関連の監査
- ② 業務処理統制の監査
- ③ 情報セキュリティ監査

①が最もよく出ます！

- － 新技術がいち早く取り上げられるので、知識を得ておく

- ・ DX, AI, IoT, アジャイル, テレワーク, マイナンバー, サイバーセキュリティ, クラウドセキュリティ, ビッグデータ, RPA など

午後Ⅱにも役立ちます！

AU 今後の対策（午後Ⅱ）

<午後Ⅱ対策>

- 新技術に関する問題への準備
 - ・ その技術に特有のリスクを知り, 監査する場合の着眼点を想定しておく
- 過去問題を使ってさまざまな題材での論述演習を
 - ・ 論述の中で, 「リスク, コントロール, 監査手続」の対応がしっかり取れているかを常に意識する
- 「監査業務の問題」への準備
 - ・ 監査計画の論述も体験しておく
- 問われたことに正面から「解答」することを意識する

今回の問2 と H30年問2
がこのタイプ！